

2015年10月27日

一般社団法人茨城県リハビリテーション専門職協会
会長 佐藤 弘行 殿

大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会 (JRAT)
茨城代表 寺 門 貴

茨城 JRAT 活動終了のご報告 (御礼)

拝啓 初秋の候、貴会ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。この度の災害に際しました、茨城 JRAT として関連団体の皆様方と共に活動することができましたこと厚く御礼申し上げます。また、現地災害本部の設置・運営につきましては、格段なるご高配を賜りましたこと、あわせて御礼申し上げます。

なお、9月27日をもちまして、茨城 JRAT の活動が終了したことをご報告申し上げます。避難所への継続支援につきましては、茨城県地域リハビリテーション支援体制における災害リハビリテーション支援活動へ引き継ぎました。県、常総市、シルバーリハビリ体操指導士等と共に支援活動を継続されています。

報告書につきましては、現在取りまとめている段階であり、後日提出させていただきます。

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

関連団体各位

関東・東北豪雨災害に関して（経緯報告）

茨城 JRAT
代表 寺門 貴

災害発生直後より多くの皆様方より、お見舞いのご連絡等いただき、茨城 JRAT を代表して深く感謝いたします。また、茨城 JRAT として災害本部の設置から災害支援に関する運営につきましては、下記の経緯のごとく関連団体の皆様方と共に活動することができましたこと厚く御礼申し上げます。まずは、経緯報告と合わせてと各位への御礼とさせていただきます。

記

台風 18 号の影響により、9 月 8 日より降り続けた豪雨によって、9 月 10 日 茨城県南部に位置する常総市を流れる鬼怒川の防波堤が決壊。市内中心部を中心に広範囲にわたり冠水。1 万戸以上の家屋が被災。4,000 人以上の市民が避難することとなった。同日、JRAT 本部より、茨城 JRAT 発動要請。

災害発生後、2 日目となる 12 日には DMAT および JMAT の合同災害対策本部へ、茨城 JRAT も参加。さらに初動と同時に茨城県から地域リハ支援体制指定病院等に対して、所属セラピストへの派遣協力の公文書を発出。

対策本部では JMAT 医療チームに茨城 JRAT も帯同。各避難所のニーズ調査を含めた医療活動を実施。特に避難所の環境調査やエコノミークラス症候群に対する対応を中心にラウンド。同時に、より多くの避難所の情報収集と医療対応目的に JRAT 単独チームを複数編成し巡回活動。この間に「福祉機器供給システム」を関係各位の合意を得て確立し、運営開始。同時に、予防的活動である集団体操のニーズに対してシルバーリハビリ体操指導士の活用について調整・開始。9 月 15 日には茨城 JRAT の所掌が県長寿福祉課に正式に位置付けられた。

災害発生後 1 週間目（9 月 17 日）、DMAT および JMAT を始めとした医療支援チームは、地域の医療機関等が業務再開したため解散。茨城 JRAT は避難所・避難者等からのリハニーズが減少しないため、従前から構築されている「茨城県地域リハビリテーション支援体制（以下、地域リハ）へ引き継ぐ」ことを着地点として活動を継続。

9 月 27 日には、地域リハへの移行最終調整がなされ、茨城 JRAT は同日解散。

以上

奇しくも茨城 JRAT として初めての災害活動であり、今後へ多くの課題はありますが、災害地区が比較的限局されていたことや初動時より医療チームと帯同できたこと、そして何より茨城県の理解と要請、ならび関係各位のひとかたならぬ献身的な行動により、非常にスムーズかつ多くの協力体制を構築できたことは大きな収穫であると感じております。今後、今回のような災害が起こらぬことを祈りつつ、万一の際には今回の対応が少しでも役立つことを願っております。